

平成31年度（令和元年度）  
事業報告書

社会福祉法人創和会

## 1, はじめに

今年度は、年々増加している派遣職員依存からの脱却が最優先の経営課題であった。しかしながら、直接雇用への転換は思うように進まず、結果的に人件費支出を増加させ4期連続の赤字決算となった事は大いなる反省点であった。以下に令和元年度の全体事業総括を述べる。

特別養護老人ホーム部門であるが、目標としている居室稼働率が98.5%である中、入居者平均の要介護度が4.5に近い重度化の現状において、また年度末にかけては新型コロナウイルスによる各種の影響を受けつつも、多職種協働で入居者の健康管理に取り組んだ結果、98.8%という高い居室稼働率を達成できたことは大きな成果であった。

デイサービス事業の年間利用者数は、平成30年度の1日平均利用者数33.2人に対して、令和元年度は34.1人と結果的に0.9人の増加に留まった。上半期に実績を伸ばし12月頃まで平均35人を維持していたが、1月以降は新型コロナウイルスによる利用控えもあり、利用実績が急速に落ち込むこととなった。一般型デイサービスの利用者は、平成30年度の1日平均利用者数29.5人に対して令和元年度は30.9人と1.4人増加したものの、相対的に利用単価の高い認知症対応型デイサービスの利用者は、平成30年度の1日平均利用者数3.7人に対して令和元年度は3.2人と0.5人も減少した。双方合算して1日平均36人の利用を目標に、更なる差別化やいっそうの広報活動が急務である。

ヘルパーステーションについては、常に制度リスクがある事業である上、急な入院や施設入所によるサービス終了も多く、事業収入の変動要素が多い部門である。今年度は単価の低い障がい制度の利用が増えたこともあり減収の可能性もあった。6月にはサービス提供責任者1名が病気療養に入ったことから停滞した時期もあったが、新たな体制を整えて新規利用者の受け入れに積極的に努めた結果、年間派遣時間数が前年度比で805時間も増え、年間9千万円の事業収入を達成したことは成果だった。

ケアマネジメントセンターについては、昨年5月に常勤の介護支援専門員1名が退職し、後任の介護支援専門員の採用活動が思うように進まなかったものの、ケアプラン担当件数を極力減らすことができないように、チームワークを活かした事業所運営を心がけた結果、前年度比では400万円近い増収を達成することが出来た。その一方で、年度末にはベテラン職員が退職したこともあり、人材確保とその定着が引き続き課題である。

木曾東グループホームであるが、年間を通じて100%稼働の月が8ヶ月間もあったなど、目標としていた97%を超える平均99%近い居室稼働率を達成出来たことは大きな成果と言える。その一方で、介護職員の定着が思うように進まず、比較的短期間で職員が入れ替わることで、認知症ケアについて方針共有や統一がスムーズに進まなかった。グループホームも3月末で開設してから丸3年を迎えることから、今後は介護の質をいっそう向上させていく努力が必要である。

最後に、平成19年度に就任した統括施設長がこの3月末で退任し、令和2年度からは新たな管理体制に移行することとなった。本会は収入構造の大半が介護保険事業による制度ビジネスだが、制度に依存することなく地域住民に寄り添い、そのニーズがどこにあるのか追求し、地域福祉に貢献するのが社会福祉法人に課せられた使命である。新型コロナウイルスの流行による社会不安が高まっている状況下であるが、新たな体制となっても地域に必要とされる法人経営を意識しながら実践してまいりたい。

## 2. 令和元年度主要課題総括

### 1. 効果的な人材採用による派遣職員依存からの脱却

前年度に年間2003万円もの派遣職員支出が生じた結果、赤字決算を余儀なくされた反省にたち、今年度は段階的に直接雇用に切り替えることで派遣職員支出を半減させる目標に、あらゆるチャンネルを通じて採用活動に取り組んだ。しかしながら、夜勤がある特養やグループホームは常態的に職員不足で推移し、下半期からはデイサービスでも派遣職員を活用することになり、派遣職員依存からの脱却が達成できなかった。この結果、年間では、年間2930万円もの派遣職員支出を生じさせることとなり、このことが赤字決算の最大要因となった。

### 2. デイサービスの事業性向上

今年度のデイサービス事業は、利用ニーズの高い入浴サービスの受け入れを強化するとともに、第2四半期以降は外部の居宅介護支援事業所のケアマネジャーに対する営業活動を意識して展開した結果、前年度比較からすると着実に稼働率を高めたが、内訳的には報酬単価の低い一般型の利用が大半であったことから事業性が向上したとは言いがたい。認知症対応型については利用者数の減少が続いている。競合する同種の事業所が林立する中でケアセンター成瀬が強みとする点を再評価し、ターゲットイングとポジショニングをしっかりと行う必要がある。

### 3. 給水給湯設備の機器更新

既存建物については平成8年2月の竣工後、平成23年度の特養整備に伴う一部の改修工事を除き、初期導入設備の更新工事が出来ていなかった。特に、給水給湯設備については老朽化が進みつつあり優先して機器更新する必要があったものの、資金不足で実行する事が出来ずにいた。これに対処するべく寄付金公募活動を推進し得られた善意の資金を有効に活用させていただき、より経年劣化が進んでいた給水ポンプ交換を先行して昨年6月に機器更新工事を実施出来た。

### 4. 被災地支援活動の継続的な取り組み

ここ数年間、日本各地において大規模災害が発生し、多くの方が被害を受け生活に支障が出た。本会が事業展開する首都近郊地域においても、遠くない将来に大地震の発生が予想されている。「共に支え合い、共に生きる」の理念に基づく被災地支援活動の必要性は、社会福祉法人としてますます問われてくるであろう。今年度も10月中旬に発生した台風19号の被害は甚大であり、11月に栃木県佐野市に職員1名を派遣し災害復興支援ボランティア活動を行った。現地の支援活動を通じて得られた情報は今後の災害への備えに役立つものと考えます。

### 5. 3カ年中期計画の確実な実践

今年度は第3次3カ年計画の最終年度であった。この間、階層別研修やリーダー職員向け教育の充実、アクティブシニア人材の積極的な受け入れ、入居系事業の稼働率目標の連続達成、光熱水費の低減、タブレット端末導入による記録効率化、情報共有Webシステムの導入など、多くの取り組みを実践できた。その一方、人材不足の中で諸事対応に迫られたことから、その他多数の計画内容が積み残しとなったことは、大いなる反省事項とともに今後の教訓と致したい。

本来ならば、今期中に第4次3カ年計画を立案しなければならなかったが、新体制への移行に伴い令和2年度は暫定的な事業計画となった。今後は第4次計画の早期の策定が課題である。

なお、ケアセンター成瀬の5事業部、2部署の年度報告は以下のとおりである。

# 地域密着型特別養護老人ホーム

## 令和元年度活動実績

### 1. 部門経営の安定化

(方針1) 入居稼働率98.5%の確保

(実績1) 退居者が7名(空室89)と昨年度実績からは増加したが、入居稼働率は、98.8%となり目標を達成できた。

(方針2) 重度要介護高齢者の積極的な入居受け入れ体制の確保

(実績2) 要介護2になった2名が退居され、その方たちに代わり要介護5の方を受け入れた。

(方針3) 介護報酬改定に伴う加算の見直し

(実績3) 介護職員等特定処遇改善加算を、家族会などで理解を求めて新たに算定を開始した。

### 2. 介護職員等の体制確保

(方針1) ユニットケアの実践に必要な人材確保

(実績1) 今年度は、正職員が2名退職し、非常勤職員も4名退職している。その為、代替要員としてやむなく高額な派遣職員を利用した。直接雇用職員の採用促進や、変則的な勤務を取り入れることにより、安定した職員体制が出来るよう努めたい。

(方針2) 職員教育と介護実践基盤の構築

(実践2) 日々の介護業務に追われ、新しい職員に特養のユニットケアのあり方を、十分に教える事が出来なかったのは反省点であった。

(方針3) ミーティング等における意見交換しやすい環境づくり

(実施3) 勤務等の都合により参加できない職員の為に、文章にて意見をもらう等の工夫をした。

(方針4) 外国人介護人材やアクティブシニア人材バンクの受け入れ

(実施4) スリランカ出身の女性の方を、試行的に短時間勤務で受け入れた。

(方針5) 介護ロボットの導入

(実施5) 年度内には介護ロボットの検討・導入には至らなかった。

### 3. 介護の質の向上

(方針1) ユニット内ミーティング

(実施1) ユニット内でケアを担いながらのミーティングしか出来ず、今後は現場を離れて落ち着いた場所、時間で行えるようにしたい。

(方針2) リスクマネジメントの徹底

(実績2) 再発防止策を複数の意見で考え、同じ事例が起きないように、ヒヤリハット用紙を全ての職員が確認出来ているか、ユニットリーダーが確実にチェックするようにした。

(方針3) 特養研修会の企画

(実施3) 運営基準上の義務的研修は全て実施したが、付加的研修までは手がけられなかった。

(方針4) 入居者お一人おひとりに合わせた介護の実践

(実施4) 体調等に合わせた対応を多職種で考え、個々の入居者に合わせた介護実践を行った。

(方針5) 入居者の社会参加機会の確保

(実績5) 毎年恒例のケアセンター成瀬まつり、地域の子供会による子供神輿・ハロウィン等に参加させてもらい、地域との良い交流が続いている。

令和元年度 特別養護老人ホーム事業実績（収入・稼働率等）

（単位）千円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
前年度 収入実績	9684	9973	9324	9432	9215	9779	9646	9346	9649	9102	9240	9704	114094	
収入予算	9387	9383	9383	9383	9383	9383	9383	9383	9383	9383	9383	9383	112600	
収入実績	9334	9288	9275	9796	9581	9199	9226	9871	16423	9910	3090	10005	114998	
達成率	99.4%	99.0%	98.8%	104.4%	102.1%	98.0%	98.3%	105.2%	175.0%	105.6%	32.9%	106.6%	102.1%	
四 半 期	予算	28153			28149			28149			28149			112600
	実績	27897			28576			35520			23005			114998
	達成率	99.1%			101.5%			126.2%			81.7%			102.1%
居室数	600	620	600	620	620	600	620	600	620	620	580	620	7320	
稼働居室	600	598	576	620	620	590	619	596	620	613	559	620	7231	
稼働率	100.0%	96.5%	96.0%	100.0%	100.0%	98.3%	99.8%	99.3%	100.0%	98.9%	96.4%	100.0%	98.8%	
四 半 期	居室	1820			1840			1840			1820			7320
	稼働居室	1774			1830			1835			1792			7231
	稼働率	97.5%			99.5%			99.7%			98.5%			98.8%
入居者数	1	2	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	7人	
退居者数	1	2	0	0	0	1	0	1	0	2	0	0	7人	

令和元年度 特別養護老人ホーム事業実績（外部来訪者・実習受け入れ等）

(1) 学校実習生等の受け入れ実績

学校名	学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
町田福祉専門学校	1年			2名										2名
北里大学	2年							3名	3名					6名
高校生	1年					2名								2名
		第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			総計
		2名			2名			6名			0名			10名

(2) ボランティア受け入れ実績（延人数）

ボランティア（個人・団体）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
住民の会（ぶどうの会）	38名	41名	39名	39名	37名	42名	41名	48名	48名	48名	50名	0名	471名	
椅子体操						1名							1名	
生け花（七沢様）					1名		1名		1名		1名		4名	
書道（雨宮様）	1名		1名	1名	1名	1名	1名	1名			1名		8名	
歌の会（歌の会）		1名	1名	1名	1名	1名		1名	1名	1名			8名	
ハンドマッサージ（清水様）		1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名			9名	
成瀬教会									15名				15名	
クリスマス会									1名				1名	
節分（豆まき）											1名		1名	
		第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			総計
		124名			129名			162名			103名			518名

## 通所介護事業部（デイサービス）

### 1. 令和元年度活動実績

#### （方針1）「通所介護事業の回復」

##### 1-① 積極的な外部への営業活動の展開。

実績① 今年度は入浴枠を最大限に広げる事で新規利用者の獲得を目指した。入浴業務に人員を投入し1日の入浴人数を最多で15名に設定した。新規依頼で入浴プラン希望のある方に、不定期でも週1回は確保して枠が空いた時点で固定利用にするといった方法で案内を行った。並行して外部の居宅介護支援事業所に対して、毎月の実績を相談員が持参で往訪してケアマネジャーと顔を合わせてくる営業活動を、12月分を除き今年度継続して実施した。各高齢者支援センターとの情報交換も密にして、総合事業の利用者の受け入れを継続した。

#### （方針2）「介護の質の向上」

##### 2-① 町田市推奨版のフェイスシート、アセスメントシート、通所介護計画書の活用

実績① 町田市推奨版のフェイスシート、アセスメントシート、通所介護計画書への全員分の移行を行ったが、新規利用者及び更新分の通所介護計画書、アセスメントの変更が必要な利用者についての評価が遅延してしまった。そのため変化する利用者の状況を電話等では居宅介護支援事業所に情報を伝えていたが、適切にケアプランに反映できていない部分もあり、根拠をもったサービスの提供に繋がっていないのが一部課題として残った。

##### 2-② 認知症対応型事業の受け入れ促進

実績② 認知症対応型の稼働率の引き上げでは、毎月の実績を届ける際に、居宅介護支援事業所に取り組み内容を伝えていたが、担当職員が専念し認知症プログラムに取り組める状況にはなっていない為、新規利用者はわずか1名に留まったことは反省せざるを得ない。

##### 2-③ 学習療法の拡大と充実

実績③ 学習療法の充実では、認知症対応型の全利用者に対する提供を計画していたが、積極的に進めていくことが思うように展開できなかった。学習療法は令和2年3月時点では、休止中の方を含めても12名と減少傾向になっており、今後の活性化が課題である。

#### （方針3）「社会貢献」

##### 3-① 地元の学校などの教育機関との連携

実績① 地元のすまいる学童クラブ・成瀬台小の交流体験と成瀬台中の職場体験は令和元年度も実施し、中学生の職場体験では2名とも小学生時代に来所した経験を持つ生徒だった。高齢者介護の実情を知ることは人間形成にも役立つ上、介護現場に好印象を抱く経験を通じて、将来的な介護人材確保の一助になれば幸いである。

##### 3-② 地域との連携

実績② 認知症対応型デイサービスで義務化されている年2回の運営推進会議の開催について、9月の開催では主に非常時の施設での動きや、地域の住民とどのような連携が可能かを話し合った。12月に開かれた合同運営推進会議では町田市全体のハザードマップや、台風の時の洪水で被害を受けた他県の事例などをもとに、自施設ではどうしたら良いか等の話し合いがなされた。

# 令和元年度デイサービス利用実績

## 1. 令和元年度 利用者換算人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計	月平均
一般型	793	778	786	886	888	841	843	814	771	729	765	731	9625.0	802.1
(換算)	656	645	643	726	731	696	680.2	679	635.2	620.5	655.7	699	8066.6	672.2
認知症	96	99	91	99	85	86	85	72	72	73	71	68	997.0	83.1

## 2. 令和元年度 入浴サービス利用者曜日別人数

	月	火	水	木	金	土	平均
人数(名)	12.1	12.1	10.7	10.6	10	9.8	10.9

## 3. 令和元年度 学習療法利用者人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計	月平均
人数(名)	16	18	17	16	17	17	16	15	13	10	11	11	177	14.8
増加人数	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	5	0.4
減少人数	0	0	1	1	0	0	1	1	2	3	1	0	10	0.8

## 4. 令和元年度 新規・終了利用者数

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		年間合計	
	新規	終了	新規	終了	新規	終了	新規	終了	新規	終了	新規	終了	新規	終了
一般	3	0	1	2	4	3	3	1	3	1	2	1	26	16
認知症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	6
総合事業	4	0	1	0	2	0	1	0	1	0	0	0	12	1
合計	7	0	2	2	6	3	4	1	4	1	2	2	39	23
	10月		11月		12月		1月		2月		3月		月平均	
	新規	終了	新規	終了	新規	終了	新規	終了	新規	終了	新規	終了	新規	終了
一般	2	1	0	0	2	0	2	3	1	1	3	3	2.2	1.3
認知症	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0.1	0.5
総合事業	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1.0	0.1
合計	4	3	0	0	2	0	4	4	1	1	3	6	14	24

## 5. 令和元年度 実習生(体験学習)受入れ及びボランティア活動人数(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
北里大学	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	6	0.5
昭和薬科大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
町田福祉	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0.2
成瀬台中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	10	0.8
各種ボラ	95	94	90	90	80	107	90	97	90	130	95	0	1058	88.2
その他	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	100	0	110	9.2
合計	95	94	90	90	90	109	93	100	90	140	195	0	1186	98.8

その他内訳

8月 盆踊り 10名

2月 成瀬台小5年生 100名

## 6. 令和元年度 収入実績

単位：千円

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
一般	H30実績	6,413	7,319	7,010	6,908	7,480	7,043	7,464	6,599	6,967	5,606	5,973	7,409	82,191
	R1予算	7,107	7,103	7,103	7,103	7,103	7,103	7,103	7,103	7,103	7,103	7,103	7,103	85,240
	R1実績	6,803	7,133	7,133	7,452	7,867	7,911	7,899	7,502	7,462	6,514	7,101	6,341	87,118
	対前年比	106.1%	97.5%	101.8%	107.9%	105.2%	112.3%	105.8%	113.7%	107.1%	116.2%	118.9%	85.6%	106.0%
	対予算比	95.7%	100.4%	100.4%	104.9%	110.8%	111.4%	111.2%	105.6%	105.1%	91.7%	100.0%	89.3%	102.2%
認知	H30実績	1,042	980	1,249	1,231	1,415	1,226	1,424	1,605	1,268	1,433	1,427	1,508	15,808
	R1予算	1,455	1,455	1,455	1,455	1,455	1,455	1,455	1,455	1,455	1,455	1,455	1,455	17,460
	R1実績	1,391	1,436	1,322	1,438	1,218	1,086	959	1,406	954	1,248	893	978	14,329
	対前年比	133.5%	146.5%	105.8%	116.8%	86.1%	88.6%	67.3%	87.6%	75.2%	87.1%	62.6%	64.9%	90.6%
	対予算比	95.6%	98.7%	90.9%	98.8%	83.7%	74.6%	65.9%	96.6%	65.6%	85.8%	61.4%	67.2%	82.1%
合計	H30実績	7,455	8,299	8,259	8,139	8,895	8,269	8,888	8,204	8,235	7,039	7,400	8,917	97,999
	R1予算	8,562	8,558	8,558	8,558	8,558	8,558	8,558	8,558	8,558	8,558	8,558	8,558	102,700
	R1実績	8,194	8,569	8,455	8,890	9,085	8,997	8,858	8,908	8,416	7,762	7,994	7,319	101,447
	対前年比	109.9%	103.3%	102.4%	109.2%	102.1%	108.8%	99.7%	108.6%	102.2%	110.3%	108.0%	82.1%	103.5%
	対予算比	95.7%	100.1%	98.8%	103.9%	106.2%	105.1%	103.5%	104.1%	98.3%	90.7%	93.4%	85.5%	98.8%

## 訪問介護事業部（ヘルパーステーション）

### 1. 事業実績

#### (1) 訪問介護・日常生活支援総合事業（別表1参照）

月平均172名の利用で、利用時間は月平均1632時間となり、利用者・派遣時間共に昨年同様の推移となった。8月～9月にかけては入所、死亡の為に終了になるケースも重なり、10月から新規利用者の受け入れを積極的に行った結果、実績の落ち込みを防ぐ事が出来た。

#### (2) 居宅介護・重度訪問介護（別表2参照）

居宅介護の利用は月平均で約10名、重度訪問介護の利用は昨年同様1名のみの利用だった。利用時間は月平均173時間となり、昨年度比では約25%も増加した。その一方では、介護保険の活動時間を確保する為、1月から重度障害ケースに対する提供時間を抑制した。

#### (3) 制度外訪問介護（別表3参照）

毎月平均20名の利用があった。

時間数は月平均67時間で、昨年同様となった。

### 2. 事業総括

#### 1 (方針) 利用者のニーズに合った満足していただけるサービスの提供。

(実績) 施設内研修に、6月27名、7月28名、10月22名、12月17名、  
部署内研修に6月43名、11月44名の参加者があった

外部研修では、5月『介護カフェ』『訪問介護ブロック会議』『対人援助職に必要な能力3回コース』、6月『老計10号勉強会』、8月『法令順守研修』『虐待防止研修』、10月『多職種連携研修』『老計10号勉強会』『難病後援会』、2月『サ責カフェ』などの研修に参加し専門性の取得に繋がるよう努めた。

11月の部署内施設では、ヘルパー間の交流も目的として開催した結果、予想を上回る反響があり、「またやってほしい。」「1人でやっているから不安だった。」と沢山のフィードバックがあった。研修参加表を作成した事で参加することの意識が上がり、参加率の向上に繋がった。

#### 2 (方針) 登録ヘルパーの確保。

(実績) 2名の休職中のヘルパーの復帰があり、1名の退職があった。この結果、現在の登録ヘルパーは41名となり昨年より1名増となった。ヘルパーの平均年齢も60歳前後となっており身体介護の依頼が入っても、担当出来る人材が少なくなっていることが課題である。

#### 3 (方針) 必要書類の整備。

(実績) 10月～12月に新規依頼が集中した事、身体介護に適任のヘルパーがおらず、内勤スタッフで活動を補わざるを得ない事が重なり、訪問介護・経過記録等の書類整備業務が滞る状況が続いた。

### 全体総括

6月の部署内研修中に1名のスタッフが倒れ、救急搬送されるという事故が発生した。

ストレスチェックの評価結果では、部署内のストレスは相対的に低いとなっていたが、職員個々の日々の健康管理が、いかに大切かを感じさせられた出来事であった。

今後も、スタッフ間での思いやりや気遣いを意識して、悩みや問題を共有し合っていきたい。引き続き関係機関との連携を密に図り、常に信頼されるサービスが提供出来るような事業所運営に努めていきたい。



# 令和元年度ヘルパーステーション利用実績

## 別表1 介護保険

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総利用者数	H30年度	180	173	177	180	179	172	171	172	168	167	170	166	2075
	R1年度	163	165	166	174	169	167	173	173	180	176	182	180	2068
要介護者数	H30年度	113	107	113	114	111	104	107	110	108	107	108	106	1308
	R1年度	102	103	104	110	108	106	111	111	119	115	122	121	1332
要介護 法人内CM	H30年度	46	45	44	47	44	40	42	42	40	41	40	39	510
	R1年度	42	41	42	45	42	43	47	45	47	46	45	43	528
要介護 法人外CM	H30年度	67	62	69	67	67	64	65	68	68	66	68	67	798
	R1年度	60	62	62	65	66	63	64	66	72	69	77	78	804
要支援者数	H30年度	67	66	64	66	68	68	64	62	60	60	62	60	767
	R1年度	61	62	62	64	61	61	62	62	61	60	60	59	735
新規 利用者数	H30年度	1	0	6	6	6	0	0	3	0	0	8	4	34
	R1年度	5	5	1	7	5	1	8	3	9	6	8	4	62
派遣時間	H30年度	1579	1656	1632	1712	1697	1580	1682	1542	1519	1545	1455	1589	19188
	R1年度	1595	1664	1523	1667	1565	1547	1679	1633	1696	1681	1604	1729	19583
登録HP 活動人数	H30年度	47	45	44	47	46	46	48	48	44	44	44	44	547
	R1年度	44	44	44	44	44	45	40	40	41	41	41	41	509

## 別表2 障がい

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
居宅介護 利用者数	H30年度	9	10	10	10	10	10	11	11	10	11	10	11	123
	R1年度	11	11	10	11	10	10	10	10	10	10	10	9	122
重度訪問 利用者数	H30年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	R1年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
移動支援 利用者数	H30年度	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	R1年度	0	0	0	2	0	0	1	0	1	1	0	1	6
派遣時間	H30年度	129.3	140.5	136	145	128	130	168	123	147	139.5	123	149.5	1658.8
	R1年度	144.3	180	188	200.5	174	185.5	165	182.5	205.3	169.3	137	145.5	2076.9

## 別表3 制度外

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
派遣時間	H30年度	86.5	123.3	104	102.7	86	87	108.4	84.3	107.9	92.4	74.1	56.4	1113
	R1年度	73.3	69.6	45.6	79.4	63.1	64.6	91.6	71.6	70.5	62.8	79.6	79.3	851
利用者数	H30年度	20	24	20	23	25	24	25	24	28	24	25	18	280
	R1年度	23	18	15	26	23	25	23	23	27	23	25	21	272

## 別表4 事業収入

単位：千円

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総収入	H30年度	7250	7587	7732	7536	7781	7619	7150	7153	6947	7122	6610	7078	87565
	R1年度	7147	6958	7155	7528	7184	6862	7633	7708	9254	7288	6920	8487	90124

## 別表5 実習生受け入れ

単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
町田福祉保育専門学校								2						2
北里大学医学部							3	3						6

## 居宅介護支援事業（ケアマネジメントセンター）

### 事業総括

#### （１）研修計画の確実な参加

実績→・町田市ケアマネ連絡会への定期的な隔月参加（但し、３月は中止となった）

- ・町田市介護人材開発センター主催の認定調査員研修に１名、相談援助研修・上級に２名。
  - ・南圏域の主任介護支援専門員協議会主催の「リ・アセスメント支援シート勉強会」１名。
  - ・町田市主催のケアマネジャー等向け住宅改修研修会に１名、主任介護支援専門員スキルアップ研修に２名。
  - ・東京都主催の高齢者権利擁護研修・虐待防止研修に１名。
  - ・東京都介護支援専門員専門研修Ⅱと東京都主任介護支援専門員研修に各１名。
- その都度、ミーティング等で報告し、共有・理解を深め、業務実践に活かした。

#### （２）安全・情報管理の徹底

実績→個人情報取り扱いに関しては、特に注意を払い、誤送信や置忘れはなかった。  
保管期限切れの書類は、年度内に２回廃棄した。

#### （２）職員間の連携強化

実績→毎週行うミーティングや業務日誌、日常的な会話の中での情報共有を行うことができ、また、事務職が日中在籍する環境が整えられた為、情報の連携が確実に取れた。

#### （４）ケアマネジメント業務の見直しや質の向上

実績→今年度から、毎月のモニタリング記録、ケアプランまた各サービス事業所からの個別計画書の確認等、事務職が行うことで、業務の効率化が図れた。  
毎週行っているミーティングでも、処遇困難ケースの具体的な処遇方針やケアマネジメントに関する技術に対して話し合いをもち、ケアマネジメントの質の向上に努めた。

#### （５）ケアプラン担当件数や業務効率化の促進

実績→５月と３月末に退職者が各１名発生したが、特定事業所加算Ⅱの取得は、非常勤から常勤に変更した職員がいたことから算定を継続できた。

その後、後任職員の補充が出来ず、計画件数には達しなかったが、今年度の新規受け入れは５４件あり、プラン実績件数は月平均で、要支援プラン２９．２５件 要介護プラン１６５．２５件。全体ではケアマネジャー１人当たり２９．５件だった。

業務遂行にあたり事務職の役割も大きく、電話・来客の対応、実績入力、計画書・提供票の送付等、他の雑務においても協力体制がとれ、効率化が図れたことは良かった。

#### （６）地域への貢献、社会福祉法人としての取り組み

実績→地域ケア会議や地域支え合い会議、南圏域エリア会議等に参加し、地域の方との顔の見える関係作りに努めた。

ケアセンター成瀬まつりへの参加や施設周辺の清掃奉仕活動にも貢献した。

## 令和元年度ケアマネジメントセンター利用実績

### ケアプラン作成実績

(単位：件数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	介護1. 2	109	104	106	108	108	106	109	112	114	114	114	107	1,311
	介護3. 4. 5	54	54	55	60	59	59	56	57	61	56	52	49	672
加算	特定事業所(Ⅱ)	163	158	161	168	167	165	165	169	175	170	166	156	1,983
	特定事業所(Ⅲ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	初回	8	5	4	6	4	1	4	6	7	5	2	2	54
	入院時情報連携Ⅰ	1	1	1	1	2	1	0	1	2	0	2	0	12
	入院時情報連携Ⅱ	0	0	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0	5
	退院・退所連携Ⅰ(1)	0	0	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0	5
	退院・退所連携Ⅰ(2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退院・退所連携Ⅱ(1)	0	0	1	1	0	1	0	2	2	0	1	0	8
	退院・退所連携Ⅱ(2)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	小規模多機能連携	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	複合型サービス連携	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	緊急時居宅カンファ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	減算・返戻	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
予防	予防プラン	30	30	31	31	32	30	31	26	26	27	28	29	351
	初回	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	5
合計	介護+予防プラン数	193	188	192	199	199	195	196	195	201	197	194	185	2,334
調査	認定調査	1	2	1	1	1	4	7	2	2	3	2	3	29

### 事業収入実績

(単位：千円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	介護1. 2	1276	1217	1241	1264	1264	1241	1281	1316	1339	1339	1339	1257	15,374
	介護3. 4. 5	821	821	836	912	897	897	854	870	931	874	793	748	10,254
加算	特定事業所(Ⅱ)	725	702	716	747	742	733	733	751	778	756	738	693	8,814
	特定事業所(Ⅲ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	初回	26	16	13	20	13	3	13	20	23	16	6	6	175
	入院時情報連携Ⅰ	2	2	2	2	4	2	0	2	4	0	4	0	24
	入院時情報連携Ⅱ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
	退院・退所連携Ⅰ(1)	0	0	5	5	0	0	5	5	0	5	0	0	25
	退院・退所連携Ⅰ(2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退院・退所連携Ⅱ(1)	0	0	6	6	0	6	0	13	13	0	6	0	50
	退院・退所連携Ⅱ(2)	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	小規模多機能連携	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	複合型サービス連携	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	緊急時居宅カンファ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	減算・返戻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防	予防プラン	129	129	133	133	137	129	133	112	112	116	120	125	1,508
	予防プラン初回	0	3	0	3	3	0	0	0	0	0	3	3	15
調査	認定調査	4	8	4	4	4	17	30	8	8	13	8	13	121
収入額	令和元年度収入合計	3075	2924	3044	3122	3069	3135	3056	3119	3240	3096	3006	2856	36,742
	平成30年度収入合計	190	5295	2838	2718	2662	2646	2760	2672	2663	2793	2788	2819	32,844

## グループホーム

### 平成元年度事業報告

#### 1. 基本運営方針の着実な実践

(実績) 買い物が可能な入居者に関しては一緒に行くように努めたり、日々の生活の中で掃除や食事準備や後片付け、お洗濯等に関しても一部手伝っていただき、レクリエーションや身体を動かす機会を設けることができたが、もう少し、入居者がそれぞれの役割を持って生活がおくれるような働きかけが出来ると尚良かった。

その一方で、スタッフの定着が思うように進まない現状がまだ継続している。グループホームの方針の共有や、やりがいの創出などを考え、今後も働きたいと思える職場にしていくことが、来年度の課題である。

#### 2. 身体拘束、虐待防止に関する考え方及び具体策

(実績) 身体拘束に関する適正化委員会を3か月に1回開催し、日々のケアの振り返りを行い、スタッフにも周知した。また、虐待の芽チェックリストを年2回実施し、結果について集計し職員と振り返る機会を設け、権利擁護研修も実施したり、不適切ケアに関しての事例をグループワークし、日ごろのケアを振り返る機会を設けた。より良いケアを目指して今後も継続した取り組みが必要と感じている。

#### 3. サービスの質の向上に関する取り組み

(実績) 第三者評価受審で評価された点や今後改善が見込まれる点が上げられたので、特に入居者に今以上に役割や楽しみを持ってもらうこと等について、来年度に活かしていきたいと考える。

季節の行事を行い、春の遠足や流しそうめん、秋の外出、敬老会等の実施などを通して、多くの家族にも参加していただくことができた。また、今年度から家族会を2回開催することができ、家族間での情報や悩みの共有などもできて好評だった。

スタッフの研修機会として認知症の方とのコミュニケーションの研修などに参加することができたが、定期的に研鑽する機会が不足だったことは次年度の課題として残った。

#### 4. 地域との連携・交流の促進

(実績) 地域の盆踊り参加し、交流をすることができた。運営推進会議にて自治会の災害対策、計画を聞く機会があり、災害時におけるグループホームの課題なども地域の方とも共有することができたことは良かったと思う。また、あんしん相談室の集まりに入居者と参加したことが縁で、近隣の方10名に施設見学してもらい、グループホームの役割について知ってもらうことができた。今後もさらなる地域との相互交流を深めていきたいと考えている。

#### 5. 医療機関との連携強化

(実績) 認知症の進行や集団生活の中で精神的に不安定になられる方もいたが、専門医の協力とともに、ホーム内においても日々の生活やスタッフの関わり方も工夫して、変動はあるものの概ね穏やかに楽しく過ごしていただくことができたと捉えている。

昨年度は全員が受けられなかった町田市健康診断について、今年度は10月に市内の病院の検診車に来てもらい、結果的に入居者全員が受ける機会を設けることができた。

令和元年度 グループホーム事業実績（収入・稼働率等） （単位）千円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
前年度 収入実績	7825	7916	7524	8502	7799	8510	8568	7882	8122	8304	7685	8740	97377	
収入予算	8087	8083	8083	8083	8083	8083	8083	8083	8083	8083	8083	8083	97000	
収入実績	7957	8478	7963	8662	8472	8782	7229	7966	12664	8733	5464	8445	100815	
達成率	98.4%	104.9%	98.5%	107.2%	104.8%	108.6%	89.4%	98.6%	156.7%	108.0%	67.6%	104.5%	103.9%	
四 半 期	予算	24253			24249			24249			24249			97000
	実績	24398			25916			27859			22642			100815
	達成率	100.6%			106.9%			114.9%			93.4%			103.9%
居室数	540	558	540	558	558	540	558	540	558	558	522	558	6588	
稼働居室	526	558	540	558	558	540	532	510	558	556	522	558	6516	
稼働率	97.4%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	95.3%	94.4%	100.0%	99.6%	100.0%	100.0%	98.9%	
四 半 期	居室	1638			1656			1656			1638			6588
	稼働居室	1624			1656			1600			1636			6516
	稼働率	99.1%			100.0%			96.6%			99.9%			98.9%
入居者数	1								1				2人	
退居者数	1						1						2人	

令和元年度 グループホーム事業実績（外部来訪者・実習受け入れ等）

(1) 学校実習生等の受け入れ実績

学校名	学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
町田総合高校	1				1名									1名
和泉短期大学	1				3名									3名
		第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			総計
		0名			4名			0名			0名			4名

(2) ボランティア受け入れ実績（延人数）

ボランティア（個人・団体）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
個人（オセロ・話し相手）						1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	7名	
ウクレレ・フラダンス等						8名							8名	
南京玉すだれ							3名						3名	
手芸	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名			10名	
花壇の手入れ	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	12名	
遠足付き添い			3名										3名	
手作りおやつ	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	12名	
大正琴		4名							3名				4名	
流しそうめん				3名									3名	
生け花			3名			3名		3名					9名	
踏み台作成	1名												1名	
		第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			総計
		20名			24名			18名			10名			72名

## 看護グループ

### 【総括】

3年前から看護師の人員不足に悩まされ、派遣看護師を常時、契約せざるを得ない状況だったが、募集案内の工夫により5月に1名、さらに11月にも1名の看護師を新規採用する事ができ、1月末をもって長期にわたった派遣看護師の利用を終了する事が出来た。

年明けには3月末をもち施設長が退任することとなった為、その引継ぎを行った。その中でも、今年に入り、新型コロナウイルス感染症の国内流行が始まり、看護グループではその感染対策に日々追われる毎日となった。

### 計画 1 デイサービスご利用者の健康管理を実施します。

**実績** デイサービスでは、昨年度、利用者増員計画を打ち立て、営業努力をする中、昨今の複雑化する在宅事情で、困難ケースや医療依存度の高いケースも目立つようになったものの、可能な限りどのようなケースも受ける事ができるようにした。

ただ、せっかく増員出来ても、夏・冬の過酷な季節環境のなか、そのような在宅ケア困難者の利用者は、入院・入所対応となってしまう、急な利用減となるケースが増え、利用者減少となった。その為、できるだけ利用者の医療リスクをキャッチし、デイサービスの利用中のみならず、ご家庭の中でも、安全に健康に生活できるようにする為、関係事業所や各職と連携し情報共有に努めた。

2月からは、新型コロナウイルス感染症の感染対策をデイサービス職員と検討し実施した。

### 計画 2 特養ご入居者の健康管理を実施します。

**実績** 特養では、開設8年が経過する中で、入居者が年々重度化して医療的なサポートが増加、看取りケアを実践するなど、業務は複雑になっている。

昨今、高齢者が急増するなか、救急搬送ができるだけ少なくなるように、医療連携し、早めに対処する事、介護・多職種と連携し、予防ケアを行っていく事が大切かと考え実践した結果、介護度が下がり退居された方2名、入院3名（うち1名は回復し退院、療養型転所1名、逝去1名）、看取りケア2名となった。空室が生じた際は、できるだけ速やかに入居いただくよう支援した。

また、時代の流れとともに予想外の権利主張・苦情を訴えられるご家族対応に苦慮し、職員のストレスが高まっている状態にある。特養だけの問題としてとらえず、各管理者の意見、各種研修での学び等から、施設全体で対応するように協力してきた。

2月からは新型コロナウイルス感染症の感染対策を特養職員と検討し実施した。

### 計画 3 施設内の教育に協力します。

**実績** 特養では、5月に感染対策研修、10月に看取りケア研修を開催した。

特養介護職員1名に対し、医療的ケア（痰吸引）実習 実地指導を行った。

2月以降は、随時、新型コロナウイルス肺炎の感染対策指導を全職員へ実施した。

## 総務管理課（法人本部事務局）

### 1、3ヶ年プロジェクト関係

#### 【計画】

- (1)「介護事業の充実」、(2)「社会貢献」、(3)「経営の安定化」3テーマの各項目の実践

#### 【実績】

施設内研修、リーダー研修実施による職員育成に努めた。

また、電気料については基本契約の見直しにより、法人合計で前年対比で約15%、光熱水費全体では約10%の削減を達成した。

### 2、経理業務

#### 【計画】

(主なスケジュール等)

- (1)平成30年度決算業務、(2)監事監査、資産登記変更手続き、(3)平成31年度補正予算作成  
(4)令和2年度当初予算作成

#### 【実績】

(1)平成30年度決算手続き、(2)監事監査、資産登記変更手続き（監事監査：5/27、理事会承認：6/1、評議員会承認：6/22、資産変更登記：6/2）、(3)令和元年度第一次補正予算（11/30 理事会承認）、(4)令和2年度当初予算作成、(5)令和元年度決算手続き

### 3、給与、労務管理業務

#### 【計画】

(1)年末調整：12月、(2)支払調書、法定調書の作成提出：1月、(3)職員定期健康診断等の実施（職員定期健康診断：8月（夜勤業務従事者については、8,3月 年2回の実施））、(4)ストレスチェック：10～11月、(5)職員インフルエンザ予防接種：11月ごろから、(6)腰痛検診等の実施、(7)社会保険加入手続き（随時）、(8)月次勤務表とりまとめ、(9)月次給与支給手続き

#### 【実績】（月は実施月）

(1)年末調整：12月、(2)支払調書、法定調書の作成提出：1月、(3)職員定期健康診断の実施（定期健康診：7月～9月（夜勤従事者については、3月））、(4)ストレスチェック：9月～10月、(5)職員インフルエンザ予防接種の促進、(6)腰痛検診等の実施：腰痛予防研修の実施（2月開催予定⇒コロナウィスルの為中止）、(7)職員入職・退職に伴う社会保険等各種手続き、(8)勤務表とりまとめ、(9)月次給与支給手続き、(10)就業規則の改定（特定処遇改善加算新設に伴う改定）

#### （総括）

今年度は3か年計画の最終年度だった。年度初めには、寄付金を原資としながら給水ポンプの更新工事を行った。また、職員不足の解消は依然逼迫した問題です。より良い介護サービスの実現に向け、引き続き本問題の解消に向け取り組んで参ります。

令和元年度 避難訓練・建物点検等実施状況

月 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	回数合計
避難訓練							10/17					3/27	2回
消防設備点検					8/26						2/5		2回
ボイラー点検											2/27		1回
建築設備定期点検		5/29											1回
水質検査	4/9												1回
受水槽・汚水槽清 掃・点検	4/9												1回
エレベーター点検	4/16	5/21	6/18	7/16	8/20	9/17	10/15	11/19	12/17	1/21	2/18	3/17	12回
電気設備点検		5/7		7/16		9/17		11/20		1/21		3/6	6回
自動ドア保守点検				7/26						1/28			2回

※上表の日付は、各項目の実施日を表しています。



令和元年度 各種会議・委員会の実施状況

1, 理事会(計6回)

開催日	議 題 他
6月1日	第1号議題 平成30年度事業報告の件
	第2号議題 平成30年度決算報告の件
	第3号議題 平成30年度監査報告の件
	第4号議題 次期役員(理事・監事)候補者の件
	第5号議題 定時評議員会に関する招集事項決定の件
6月22日	第1号議題 新理事長選任の件
	第2号議題 新常務理事選任の件
	第3号議題 定款細則一部修正の件
8月24日	第1号議題 第1四半期事業総括の件
	第2号議題 給水ポンプ更新工事完了の件
	第3号議題 特定処遇改善加算の件
	第4号議題 就業規則変更の件
11月30日	第1号議題 令和元年度上半期事業総括の件
	第2号議題 令和元年度第一次補正予算の件
	第3号議題 施設管理規程に関する運用の件
1月25日	第1号議題 来年度からの法人全体運営体制の件
	第2号議題 介護職員資格取得助成制度新設の件
	第3号議題 職員紹介奨励制度新設の件
	第4号議題 寄付金募集活動推進の件
3月20日 決議省略	第1号議題 令和2年度事業計画の件
	第2号議題 令和2年度当初予算の件
	第3号議題 評議員選任・解任委員会開催の件
	第4号議題 評議員推薦候補者の件
	第5号議題 常務理事職解任の件
	報告事項1 木曾東グループホーム圓に関する給食提供の件

2, 評議員会(計3回)

開催日	議 題 他
6月22日	第1号議題 平成30年度事業報告の件
	第2号議題 平成30年度決算報告の件
	第3号議題 平成30年度監査報告の件
	第4号議題 次期役員(理事・監事)選任の件
2月8日	第1号議題 来年度からの法人全体運営体制の件
	第2号議題 潜在的介護人材採用活動強化の件
	第3号議題 職員に対する人材紹介謝礼制度の件
	第4号議題 寄付金募集活動推進の件
3月28日 決議省略	第1号議題 令和2年度事業計画の件
	第2号議題 令和2年度当初予算の件
	報告事項1 石川評議員辞任に伴う評議員選任・解任委員会開催の件
	報告事項2 新評議員候補者の件
	報告事項3 常務理事職解任の件
	報告事項4 木曾東グループホーム圓に関する給食提供の件

3、管理者会議(計13回)

開催日	議題 他
4月26日	・理事長挨拶
	・3月度収支報告
	・30年度事業報告書提出依頼の件
	・30年度下半期人事考課結果の件
	・29年度有給休暇取得状況の件
	・災害時二次避難施設設置要領改定の件
	・介護現場におけるハラスメント対策マニュアルの件
	・給水ポンプ交換工事日程の件
	・人事の件
5月27日	・理事長挨拶
	・4月度収支状況
	・勤務関係申請書の記載について
	・給水ポンプ交換工事に伴う確認事項
	・なるせだいまつり出店の件
	・東京都「職場体験」及び「介護職員就業促進事業」の件
	・接遇マナーガイドライン運用開始の件
	・30年度事業報告の件
	・給水ポンプ運用開始の件
	・HS(障がい)町田市実地指導結果報告の件
	6月27日
・5月度収支報告	
・職場健診の件	
・令和元年度事業計画に関する第1四半期総括提出依頼の件	
・【町プロ】多職種連携研修に向けてのアンケート協力依頼	
・7月度リーダー研修日程調整の件	
・9月度一般職員研修日程調整の件	
・なるせだいまつり応援要員の件	
・各所施設管理徹底の件	
・緊急連絡先情報管理の件	
・デイサービス運営体制の件	
・ビジネスフォン通話録音機能追加の件	
・蚊対策講習会参加復命	
・介護保険施設等に対する実地指導の標準化・効率化等の運用指針の件	
・身寄りがない人の入院及び医療にかかわる意思決定が困難な人への支援の件	
7月29日	・理事長挨拶
	・6月度収支報告
	・デイサービス人事の件
	・ヘルパーステーション営業時間変更の件
	・PC更新準備の件
	・履歴書の取り扱いの件
	・私有車両通勤使用許可の件
	・緊急連絡先情報管理の件
	・令和元年度第1四半期総括の件
	8月28日
・7月度収支報告	
・上半期人事考課の件	
・デイサービス運営体制の件	
・派遣職員契約の現状	
・最低賃金引き上げの件	
・PC更新準備の件	
・年金生活者支援給付金の件	
・北里大学医学部早期体験学習受入日程の件	
・特定処遇改善加算に関する取り扱いの件	
・就業規則改定の件	

9月26日	・理事長挨拶
	・8月度収支報告
	・通勤定期券購入状況確認の件
	・ストレスチェック実施の件
	・ケアセンター成瀬まつり開催準備の件
	・私有車両使用許可の件
	・年末年始営業の件
	・上半期事業総括提出依頼の件
	・実地指導対策用勤務表データの件
	・PC更新の件
	・避難訓練実施の件
	・10月以降の料金改定の件
	・下半期労働条件通知書配布の件
	10月30日
・9月度収支状況	
・年末調整の件	
・ケアセンター成瀬まつり開催準備の件	
・令和元年度上半期人事考課結果の件	
・次回サービス維持・改善委員会の検討課題について	
・10月からの料金改定説明に関する進捗状況の件	
・令和元年度第2回基本研修開催日程の件	
・2月度リーダー研修(介護・福祉周辺の法律・都条例の理解)開催日程の件	
・上半期事業総括 <各部門より>	
11月29日	・理事長挨拶
	・10月度収支報告
	・ケアセンター成瀬まつり実施総括の件
	・ボランティア親睦会参加者確認の件
	・ケアマネジメントセンター採用活動強化の件
	・デイサービス等における新プログラム導入の件
	・技能実習生など外国人介護職受入に関する件
	・令和2年度事業計画(予算)策定用資料の提出依頼について
	・忘年会等一部補助の件
	・年賀状発送先データ確認修正依頼の件
・災害ボランティア活動報告	
12月30日	・理事長挨拶
	・11月度収支状況
	・認知症共生セミナー案内チラシ配布の件
	・地域内における潜在的人材の採用活動強化の件
	・来年度からの法人全体運営体制の件
1月27日	・理事長挨拶
	・12月度収支状況
	・36協定終結の件
	・1/25理事会決定事項報告の件
	・来年度からの法人全体運営体制の件
2月27日	・理事長挨拶
	・1月度収支状況
	・36協定労働者代表の件
	・令和元年度下半期人事考課面談の件
	・令和2年度実習生受け入れの件
	・災害時情報伝達訓練の件
	・避難訓練実施の件
	・来年度からの法人全体運営体制の件

3月25日	・理事長挨拶
	・4月1日付け人事の件
	・永年勤続表彰対象者の件
	・来年度からの法人全体運営体制の件
3月30日	・理事長挨拶
	・2月度収支報告
	・令和元年度収支見通しの件
	・正職員に対する賞与支給の件
	・正職員に対する介護職員処遇改善手当及び特定処遇手当支給の件
	・契約職員に対する特定処遇手当支給の件
	・ネットワーク運用管理の件
	・東京都自転車安全で適正な利用の促進に関する条例の件
	・理事会及び評議員会での決議事項の件(当初予算等)
	・令和2年度事業計画の件

#### 4、全体会議(計1回)

開催日	議 題 他
9月30日	理事長・施設長より他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度上半期の事業実績等</li> <li>・各部署管理職より</li> <li>・東京都自転車条例の改定について</li> <li>・介護職員等特定処遇改善加算の取り扱い</li> <li>・10月からの利用者負担額改定について</li> <li>・下半期へ向けての再確認</li> <li>・質疑応答</li> </ul>
3月30日	理事長・施設長より他 新型コロナウイルス感染予防策の一環で開催中止

#### 5、リスクマネジメント委員会(計5回)

開催日	議 題 他
5月13日	・事故報告、ヒヤハット事例の共有と再検証(3事例) ・その他
7月30日	・事故報告、ヒヤハット事例の共有と再検証(4事例) ・その他
10月10日	・事故報告、ヒヤハット事例の共有と再検証(4事例) ・その他
12月20日	・事故報告、ヒヤハット事例の共有と再検証(4事例) ・その他
3月16日	新型コロナウイルス感染予防策の一環で開催中止

## 6、感染対策委員会(計10回)

開催日	議 題 他
4月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症流行概況について</li> <li>・施設内の罹患状況について</li> <li>・高齢者介護施設における感染対策マニュアル改定版について</li> <li>・当面の対策や、今後に備えた対応について</li> </ul>
7月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症流行概況について</li> <li>・施設内の罹患状況について</li> <li>・当面の対策や、今後に備えた対応について</li> </ul>
9月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症流行概況について</li> <li>・施設内の罹患状況について</li> <li>・当面の対策や今後に備えた対応について</li> </ul>
10月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症流行概況について</li> <li>・施設内の罹患状況について</li> <li>・東京都老人福祉施設等感染症対策指導者養成研修参加報告</li> <li>・当面の対策や今後に備えた対応について</li> </ul>
11月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症流行概況について</li> <li>・施設内の罹患状況について</li> <li>・インフルエンザワクチン予防接種の経過報告</li> <li>・当面の対策や今後に備えた対応について</li> </ul>
12月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症流行概況について</li> <li>・施設内の罹患状況について</li> <li>・インフルエンザワクチン予防接種の経過報告</li> <li>・当面の対策や今後に備えた対応について</li> </ul>
1月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症流行概況について</li> <li>・施設内の罹患状況について</li> <li>・インフルエンザワクチン予防接種の経過報告</li> <li>・当面の対策や今後に備えた対応について</li> </ul>
2月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症流行概況について</li> <li>・施設内の罹患状況について</li> <li>・新型コロナウイルス感染予防対策</li> <li>・当面の対策や今後に備えた対応について</li> </ul>
3月25日 臨時会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス対策について</li> <li>・既存対策についての現状確認、4月以降へ向けた今後の対策</li> </ul>
3月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症流行概況について</li> <li>・施設内の罹患状況について</li> <li>・新型コロナウイルス感染予防策</li> <li>・当面の対策や今後に備えた対応について</li> </ul>

## 7、広報委員会(計8回)

開催日	議 題 他
4月5日	・広報誌「けあなるNo.29」編集会議
5月3日	・広報誌「けあなるNo.29」編集会議
7月5日	・広報誌「けあなるNo.30」編集会議
8月2日	・広報誌「けあなるNo.30」編集会議
10月11日	・広報誌「けあなるNo.31」編集会議
11月8日	・広報誌「けあなるNo.31」編集会議
1月10日	・広報誌「けあなるNo.32」編集会議
2月7日	・広報誌「けあなるNo.32」編集会議

## 8、研修委員会(計7回)

開催日	議 題 他
4月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月度の施設内研修実施結果</li> <li>・3月度のリーダー研修実施結果</li> <li>・令和元年度研修計画について</li> </ul>
5月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度研修計画について</li> <li>・研修復命報告会の検討</li> </ul>
7月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月度の施設内研修実施結果</li> <li>・6月度のリーダー研修実施結果</li> <li>・上半期基本研修実施結果、部門内研修実施結果</li> <li>・令和元年度研修計画について(10月末までの確定分)</li> <li>・部門内研修実施結果</li> <li>・8月度の施設内研修実施結果</li> </ul>
9月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月度の施設内研修実施結果</li> <li>・7月度のリーダー研修実施結果、8月度のリーダー研修実施結果</li> <li>・9月度の施設内研修実施結果、部門内研修実施結果</li> <li>・令和元年度研修計画について(12月末までの確定分)</li> <li>・次回基本研修の進め方について</li> <li>・研修復命報告会企画について</li> <li>・部門内研修実施結果</li> <li>・元年度研修計画について</li> </ul>
11月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月度の一般職員研修実施結果</li> <li>・10月度のリーダー研修実施結果、11月度のリーダー研修実施結果</li> <li>・部門内研修実施結果</li> <li>・令和元年度研修計画について(3月末までの確定分)</li> <li>・次回基本研修の進め方について</li> </ul>
1月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月度のリーダー研修実施結果、1月度のリーダー研修実施結果</li> <li>・12月度の一般職員研修実施結果</li> <li>・部門内研修実施結果</li> <li>・令和元年度残りの研修計画について</li> <li>・来年度の研修計画について</li> </ul>
3月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2月度のリーダー研修実施結果</li> <li>・部門内研修実施結果</li> <li>・研修委員会の存廃</li> <li>・来年度の研修計画</li> </ul>

### 9、衛生委員会(計12回)

開催日	議 題 他
4月26日	・巡視報告 ・定期健康診断の実施について
5月27日	・巡視報告 ・その他
6月27日	・巡視報告 ・定期健康診断の実施について
7月29日	・巡視報告 ・定期健康診断の実施について、ストレスチェックの実施について
8月28日	・巡視報告 ・その他
9月26日	・巡視報告 ・ストレスチェックの実施について(分析結果の職場別分析の区分について検討)
10月30日	・巡視報告 ・ストレスチェックの分析結果について
11月29日	・巡視報告 ・労働災害防止セミナー報告 ・腰痛予防講演
12月30日	・巡視報告 ・ストレスチェックの経過報告
1月27日	・巡視報告 ・ストレスチェック報告書を労基署提出済の旨報告
2月27日	・巡視報告 ・特養及びグループホームの夜勤者健康診断について
3月30日	・巡視報告 ・その他

### 10、サービス維持・改善委員会(計2回)

開催日	議 題 他
5月14日	・在宅サービス事業の増収へ向けた具体策 ・効果的な求人活動の取り組み
12月18日	・職員採用から定着に関する仕組み作りについて ・OJTリーダーの配置について ・研修ニーズと現在の研修プログラムについて ・部門を超えた職員交流促進の場作りについて ・労働条件や職場環境について

## 令和元年度 各種研修報告

### (1)内部研修開催実績

#### ①「一般職員向け施設内研修」

一般介護職員へ向けた介護の基本研修。前年に引き続き、外部の研修機関より専門の講師を招き、1年を通したシリーズものとして開催致しました。なお今年度は、一部のテーマでリーダー職員が講師役となり伝達研修の要素を取り入れ、実務に活きるよう取り組みました。

日付	講師	研修テーマ
6月4日	外部講師	福祉用具の適切な使い方
7月17日	外部講師	認知症の方とのコミュニケーション
9月13日	外部講師	持ち上げない介護
10月4日	外部講師	自分自身を知る①
12月13日	外部講師	排泄介助

#### ②リーダー研修

副主任以上を対象に、本会のリーダーとして活躍する為に求められる知識、スキルをテーマに研修を行いました。

日付	講師	研修内容
6月12日	内部職員	改めてリスクマネジメントの基本を学ぶ
7月30日	外部講師	接遇だけではないマナーとは？
8月29日	外部講師	人事考課者研修
10月18日	外部講師	自分自身を知る(リーダー向け)
11月15日	外部講師	リーダーシップ①
12月11日	外部講師	リーダーシップ②
1月14日	外部講師	人材育成
2月12日	外部講師	介護・福祉周辺の法律・都条例の理解

#### ③基本研修

主に過去半年の間に入社した職員に向けた基本テーマを取り扱った研修。テーマは、本会の理念、創設の経緯といった本会の成り立ちから始まり、ビジネスマナーや、介護保険制度の概要、個人情報保護、身体拘束の禁止等の知識、リスクマネジメント、感染症予防の知識等を取り上げました。

日付	講師	研修内容
6月18日	内部役職員	新たに入社した職員や既存職員を対象とした基本事項の総合研修
12月10日	同上	同上

なお、2、3月にはコロナウィルスへの対応により、以下3件の研修を中止と致しました。

#### ・一般職員向け施設内研修

2/27 予定	内部職員	腰痛防止
3/26 予定	外部講師	自分自身を知る②

#### ・リーダー研修

3/6 予定	外部講師	社会福祉法人の管理職に求められる基本視点
--------	------	----------------------



## (2)職員外部研修－1

日付	職種	研修内容
4月16日	施設長	平成31年度東京都介護職員就業促進事業事業者登録会
4月17日	CM職員	新任職員研修
4月17日	施設長	町田市介護サービスネットワーク2019年度第一回介護・福祉ミニ面接会
4月24日	GH職員	グループホーム連絡会全体会
5月9日	施設長	東社協高齢者福祉施設協議会 人材対策委員会
4月25日	CM職員	リ・アセスメント支援シート勉強会
5月8日	CM職員	ケアマネ連絡会
5月15日	施設長	町田市介護サービスネットワーク町田市高齢者福祉施設部会
5月16日	DS職員	第一回町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会
5月19日	CM職員	実践モデル施設のつどい学習療法導入施設責任者の会
5月20日	管理栄養士	第一回特定給食施設栄養管理講習会
5月21日	看護師	褥瘡ケアと創傷ケア-病院での対応-
5月25日	管理栄養士	東京都高齢者福祉施設協議会南多摩ブロック会栄養研修会
5月27日	DS職員	第一回町田ネットワークサポート委員会
5月29日	DS職員	町田市通所事業所連絡会認知症部会
6月5日	DS職員	ケアマネージャー・通所介護合同研修打合せ
6月7日	施設長	東京都介護職員奨学金返済育成支援事業補助金説明会
6月10日	施設長	アンガーマネジメントを活用したコミュニケーション研修
6月7日	HS職員	老計10号勉強会
6月14日	DS職員	町田市通所事業所連絡会 南地区ブロック会
6月20日	施設長	特定処遇改善加算への対応と知って得する最新助成金情報
6月25日	施設長	感染症を媒介する蚊対策講習会
6月26日	DS職員	ケアマネージャー・通所介護合同研修
6/22～9/4	特養職員	2019年度第1回東京都介護職員による痰の吸引等の実施のための研修
7月9日	施設長	福祉・介護職員等特定処遇改善加算の説明会
7月10日	施設長	平成31年度安全運転管理者講習
7月9日	CM職員	本人情報シートの意義と作成における注意点
7月10日	CM職員	ケアマネージャー連絡会研修
7月23日	施設長	臨時学習会 介護職員等特定処遇改善加算(新加算)について
7月29日	施設長	令和元年度外国人介護従事者受入れに係る補助事業説明会
5/16～6/20	HS職員	求人援助職に必要な能力
8月21日	HS職員	法令遵守研修「北区での介護における取組
8月22日	施設長	東社協 人材対策委員会
8月23日	HS職員	高齢者虐待防止研修
8月23日	CM職員	高齢者虐待防止研修
8月24日	DS職員	町田安心して暮らせるまちづくりプロジェクト 第12回多職種連携研修会
8月24日	HS職員	町田プロ 第12回多職種連携研修会
7/13～8/26	GH職員	介護職員初任者研修課程受講
9月6日	GH職員	グループホーム連絡会第3回 職員交流会
9月10日	GH職員	グループホーム連絡会 施設見学会
9月11日	施設長	町田市介護サービスネットワーク第3回町田市高齢者福祉施設部会
7/18～9/11	CM職員	東京都介護支援専門員専門研修Ⅱ
9月17日	CM職員	ケアマネ連絡会
10月8日	施設長	令和元年度東京都老人福祉施設等感染症対策指導者養成研修
10月9日	看護師	地域交流学習会 感染症対策
10月17日	DS職員	第10回 町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会
10月10日	GH職員	おいしく楽しく安全に～要介護者の食事介助～
10月23日	DS職員	アクティブin町田ネットワークサポート委員会

## 職員研修-2

日付	職種	研修内容
10/3～11/6	DS職員	東京都認知症介護実践者研修
10月31日	HS職員	2019年度難病講演会・交流会ALS患者と患者を支える人の為の講演会交流会
11月8日	施設長	福祉職員採用活動セミナー「求職者の心に届く広報活動とは」
9/21～11/7	GH職員	東京都介護支援専門員更新研修
11月1日	GH職員	東京都認知症介護基礎研修
11月12日	看護職員	成人のアレルギー疾患に関する相談実務研修
11月13日	施設長	2019年度第4回 町田市高齢者福祉施設部会
11月17日	施設長	認知症共生セミナーin成瀬台 準備会
7/16～11/12	CM職員	相談援助研修・上級編
11月9日	DS職員	認知症ライフサポート研修
11月14日	施設長	令和元年度台風19号被災地支援災害ボランティア活動
11月19日	CM職員	ケアマネージャー等向け住宅改修研修会の開催について
11月20日	施設長	アクティブ福祉in町田19&会員交流会
11月21日	施設長	東京都高齢者福祉施設協議会 人材対策委員会
11月26日	管理栄養士	東京都高齢者福祉施設協議会南多摩・八王子ブロック会栄養研修会
11月27日	総務職員	東京都社会福祉協議会 従事者共済会システム説明会
11月13日	CM職員	ケアマネ連絡会
11月14日	総務職員	介護事業場向け 働き方改革及び労働災害防止セミナー
12月16日	施設長	まちだ介護支援ネットワーク共同組合 忘年会
12月23日	施設長	第68回東京都社会福祉大会
12月19日	特養職員	介護報酬請求事務に関する研修会(応用編)
11月12日	CM職員	相談援助研修・上級編
11月13日	HS職員	講義、グループワークを通じて利用者本人の自立支援について考える
1月10日	看護職員	高齢者のスキンケアと褥瘡ケア
1月14日	DS職員	法令順守研修
1月15日	CM職員	町田市主任主任介護支援専門員スキルアップ研修
1月15日	CM職員	町田市ケアマネージャースキルアップ研修
1月22日	HS職員	サービス提供責任者初任者研修
1月29日	CM職員	東京主任者介護支援専門員研修
1月21日	DS職員	地域密着型通所事業所 合同運営推進会議
1月28日	DS職員	聴覚障害に関する基本的知識を学び認定調査時の適切な対応方法とコミュニケーションを知る
2月6日	施設長	東社協2019年度第4回人材対策委員会
2月12日	施設長	町田市介護サービスネットワーク2019年度第5回施設部会
2月14日	施設長	二次避難施設調整会議
2月20日	DS職員	学校支援ボランティア感謝状贈呈
2月19日	DS職員	町田市通所介護連絡会 南地区ブロック会
2月20日	DS職員	第3回町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会

令和元年度 施設内事故発生状況

発生日	対象/種類	受傷者/破損物品	事故内容
4月10日	利用者	GH利用者	転倒
5月3日	利用者	GH利用者	転倒
5月3日	利用者	GH利用者	転倒
5月17日	利用者	特養利用者	転倒
6月7日	利用者	HS利用者	訪問忘れ
5月30日	職員	GH職員	接触
6月19日	車両	DS職員	物損
7月13日	車両	HS職員	接触
7月2日	利用者	HS利用者	物損
7月30日	利用者	HS利用者	誤薬
8月2日	利用者	HS利用者	物損
8月4日	利用者	HS利用者	訪問忘れ
8月8日	利用者	HS利用者	訪問忘れ
8月30日	利用者	GH利用者	物損
8月30日	利用者	GH利用者	物損
9月14日	利用者	HS利用者	訪問忘れ
10月15日	利用者	HS利用者	訪問忘れ
11月1日	利用者	HS利用者	訪問忘れ
11月10日	利用者	GH利用者	転倒
11月9日	利用者	GH利用者	訪問忘れ
11月30日	利用者	GH利用者	転倒
12月11日	利用者	DS利用者	その他
10月23日	利用者	DS利用者	物損
1月4日	利用者	DS利用者	転倒
1月14日	利用者	DS利用者	転倒
8月19日	車両	CM職員	接触
11月5日	車両	DS職員	その他
10月17日	利用者	HS職員	その他

発生日	対象/種類	受傷者/破損物品	事故内容
12月9日	車両	HS職員	その他
12月21日	車両	DS職員	その他
2月29日	車両	HS職員	その他
7月9日	利用者	GH利用者	その他
7月9日	利用者	GH利用者	その他
12月7日	利用者	GH利用者	その他